

安全データシート

改訂日：2024年4月5日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ジメチルグリオキシム
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555 (大阪・本社)
(03)3246-2311 (東京) (0268)22-5910 (上田)
(052)504-2221 (名古屋) (082)537-0290 (広島)
CB1313

整理番号

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分4

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
飲み込むと有害
【安全対策】
取扱い後は、よく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
【応急処置】
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別

化学名
別名
化学式
CAS RN
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
危険有害成分
GHS分類に寄与する不純物及び安定化合物
その他

化学品
ジメチルグリオキシム
2,3-ブタンジオンジオキシム, ジアセチルジオキシム
 $(\text{CH}_3)_2\text{C}_2(\text{NOH})_2$
95-45-4
98%以上
(2)-541 / 公表
該当情報なし。
該当情報なし。
HSコード：2928.00

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。
汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。

眼に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師の手当てを受けること。口をすすぐ。吐かせない。
該当情報なし。

予測できる急性症状及び遅発性症状
の最も重要な兆候症状

応急処置をするものの保護
医師に対する特別な注意事項

該当情報なし。
該当情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡沫消火剤、粉末消火剤。
周辺火災に適した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

特有の危険有害性 特有の消火方法	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は風上から行き、有害なガスの吸入を避ける。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	呼吸用保護具、眼用保護具、手の保護具及び身体用保護具を着用する。 発火源から遠ざける。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 吸収材（珪藻土、パーミキュライト、砂）で吸収し、規則に従って廃棄する。 区域を喚起し、漏出場所を洗浄する。 該当情報なし。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策（局所排気、全体換気等）	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 適切な保護具を着用する。 目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。 強酸化剤、酸、熱源。
安全取扱注意事項	
接触回避	
保管 技術的対策 安全な保管条件	該当情報なし。 直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し密閉する。 火気厳禁。 ガラス
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。 作業場近くに手洗い等の設備を設ける。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点・凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 爆発下限界及び上限界/可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度	結晶性粉末 白色 該当情報なし。 239~243°C 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 239~243°C（徐々に分解する） 該当情報なし。 該当情報なし。 0.6g/L (20°C, 水) エチルアルコール、エチルエーテルに溶けにくい。
n-オクタノール/水分分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性	該当情報なし。 該当情報なし。 0.5g/m ³ 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性	通常の保管条件下で安定である。 強酸化剤、酸と激しく反応する。

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

加熱、火源、混触危険物質との接触。
強酸化剤、酸、熱源。
該当情報なし。

1 1. 有害性情報

急性毒性

経口：ラットにおいて、LDLo 250mg/kgとのデータがあり、区分4とした。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入：データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

データ不足のため分類できない。

データ不足のため分類できない。

呼吸器：該当情報なし。

皮膚：該当情報なし。

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性（単回暴露）

特定標的臓器毒性（反復暴露）

吸引性呼吸器有害性

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

短期：該当情報なし。

長期：該当情報なし。

残留性・分解性

生体蓄積性

土壤中の移動性

オゾン層への有害性

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

汚染容器及び包装

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

国内規制

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

該当しない。

—

—

—

消防法の規定に従う。

船舶安全法の規定に従う。

航空法の規定に従う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に進行。

応急措置指針番号

該当しない。

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)

毒物及び劇物取締法

労働安全衛生法

消防法

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき有害物〔施行令別表9〕に該当しない。

危険物に該当しない。

1 6. その他の情報

参考文献

The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data
17423の化学商品（化学工業日報社）

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。